
中野市民満足度調査

あなたの声をお聴かせください

報告書

(令和7年5～6月実施)

調査の概要

1 調査の目的

「第2次中野市総合計画(後期基本計画)」に基づく将来都市像「緑豊かなふるさと文化が香る元気なまち」の実現に向け、中野市の施策への「満足度」や「重要度」について市民の意見を伺い、その結果を各種事業へ反映させるため、「市民満足度調査」を実施しました。

2 調査設計

- 1) 調査対象 18歳以上の市民から2,000人を無作為抽出
- 2) 調査方法 郵送により配布し、郵送またはweb回答により回収
- 3) 調査期間 令和7年5月22日～6月6日
- 4) 配布数 2,000票
- 5) 回収数 701票(うちWEB回答122票)
- 6) 回収率 35.1%

3 集計上の留意点

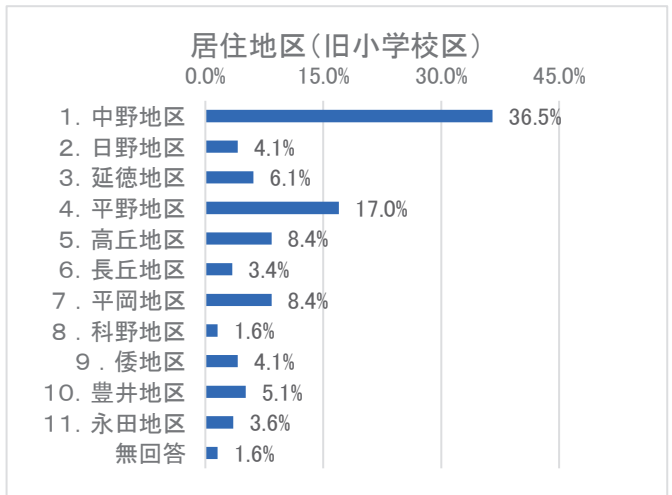
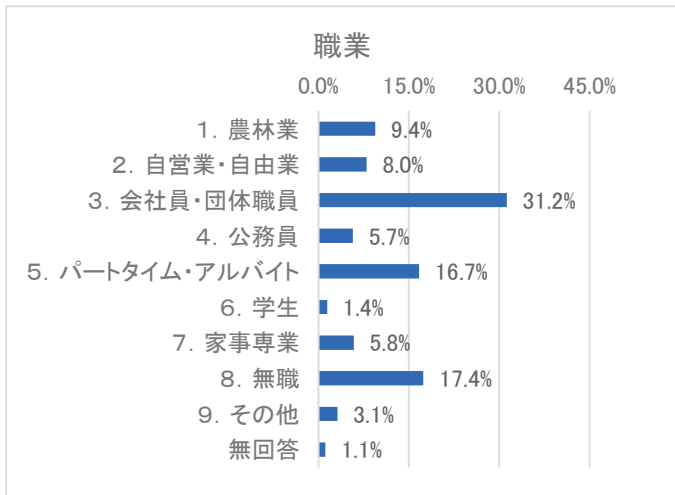
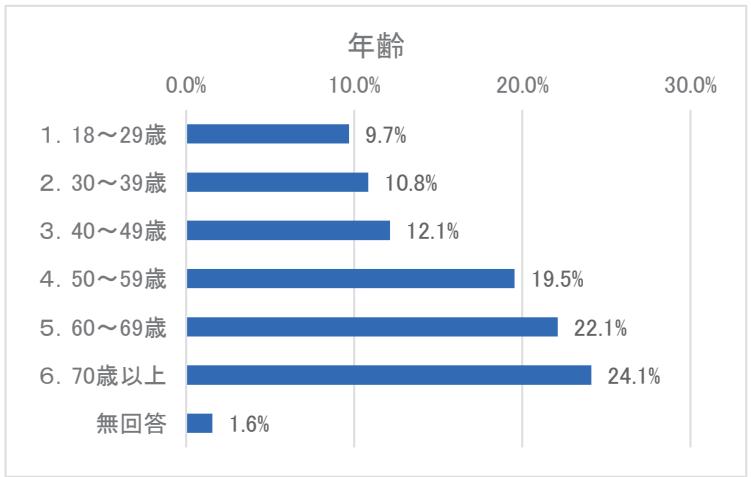
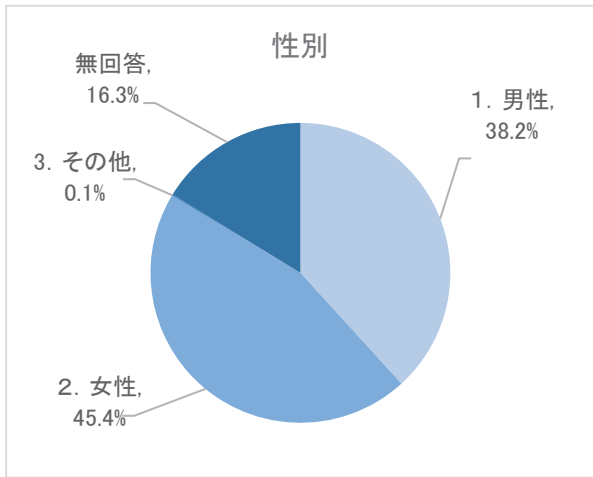
- 1) 回答率(割合(%))は、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位までを表記しました。このため、合計が100%にならない場合があります。
- 2) 複数回答方式(マルチ回答)の設問では、回答率(割合(%))は回答者総数に対する回答数の割合を示している箇所があります。したがって、回答率の合計は100になりません。同様に、回答数の合計は回答者総数とは一致しません。

目次

最初に、あなた自身のことについて伺います	2
満足度調査	4
情報端末の利用に関する調査	20
中野市食育推進計画(第4次)の指標計画に関わるアンケート	22
男女共同参画に関する市民意識調査	25

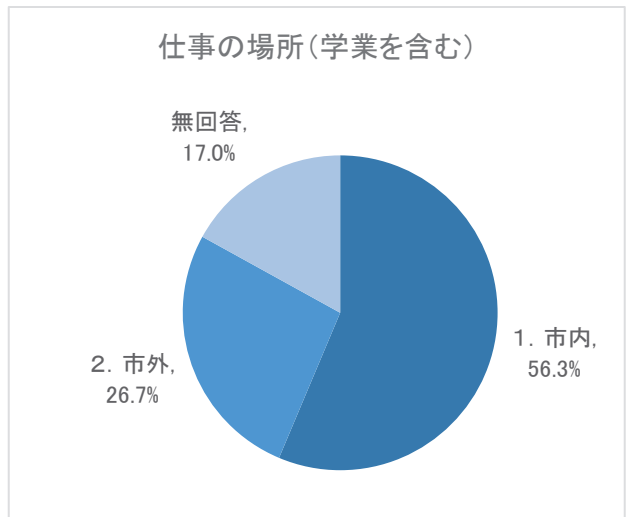
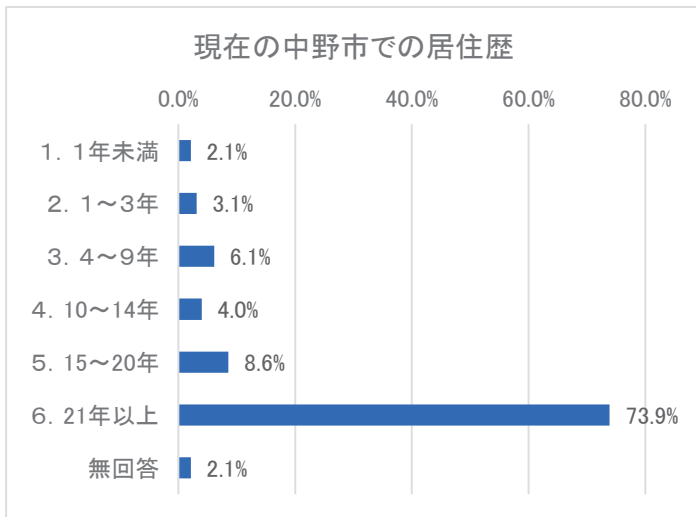
最初に、あなた自身のことについて伺います(全体:回答者数 701:単位%)

あてはまるものに○をしてください。(○は1つ、ただし「世帯の状況」は2つまで)

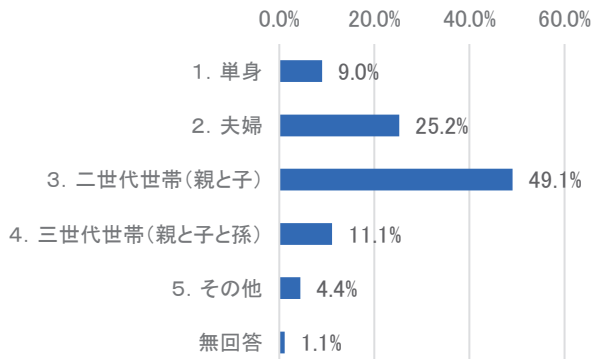


職業：その他具体的に

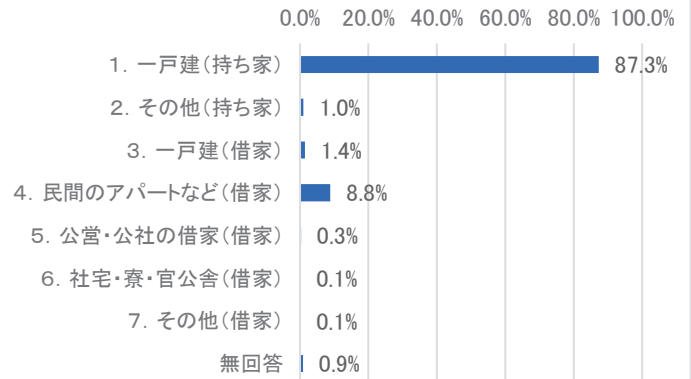
シルバー登録／フランセーズ悠なかの入所中／育休中／夏季のみの農作業手伝い／家事・農業／家事手伝い・農業など／介護職員／会計年度／兼業農家／建設業／作業所勤務／事業所(福祉)／中野シルバー人材センター／年金生活／農業他／保育士



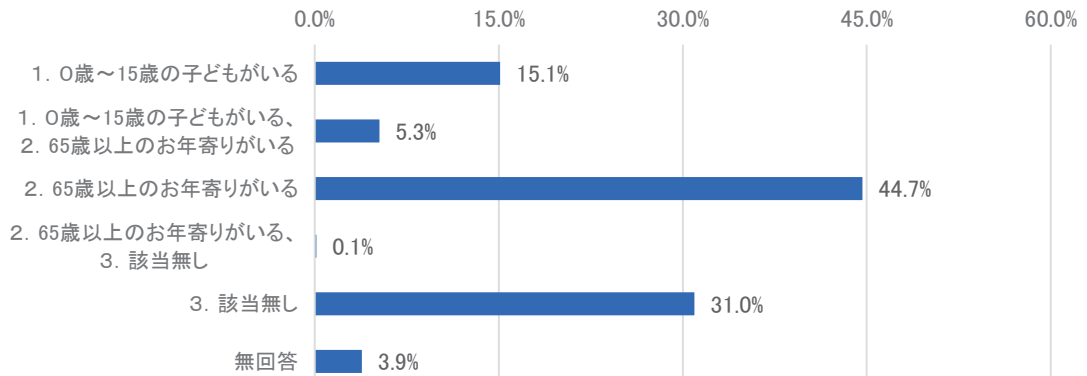
家族構成



お住まい



世帯の状況

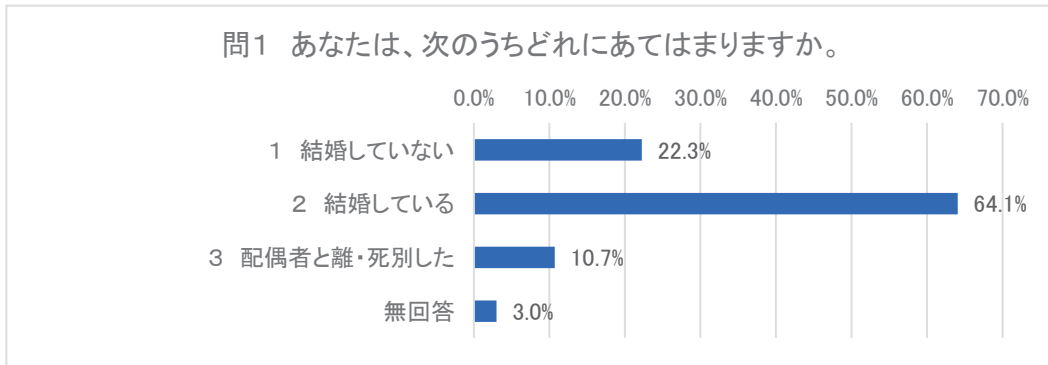


回答者属性

	1. 18～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳	4. 50～59歳	5. 60～69歳	6. 70歳以上	無回答
1. 中野地区	11.7%	12.9%	10.2%	17.6%	22.3%	24.2%	1.2%
2. 日野地区	10.3%	6.9%	13.8%	41.4%	20.7%	6.9%	0.0%
3. 延徳地区	11.6%	11.6%	23.3%	9.3%	16.3%	27.9%	0.0%
4. 平野地区	14.3%	12.6%	12.6%	26.1%	15.1%	18.5%	0.8%
5. 高丘地区	5.1%	8.5%	13.6%	16.9%	22.0%	32.2%	1.7%
6. 長丘地区	4.2%	8.3%	12.5%	16.7%	33.3%	25.0%	0.0%
7. 平岡地区	5.1%	15.3%	13.6%	18.6%	22.0%	23.7%	1.7%
8. 科野地区	27.3%	0.0%	18.2%	27.3%	27.3%	0.0%	0.0%
9. 倭地区	3.4%	10.3%	6.9%	17.2%	17.2%	44.8%	0.0%
10. 豊井地区	2.8%	2.8%	8.3%	22.2%	36.1%	25.0%	2.8%
11. 永田地区	4.0%	0.0%	16.0%	8.0%	36.0%	32.0%	4.0%
無回答	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%	27.3%	18.2%	27.3%
総計	9.7%	10.8%	12.1%	19.5%	22.1%	24.1%	1.6%

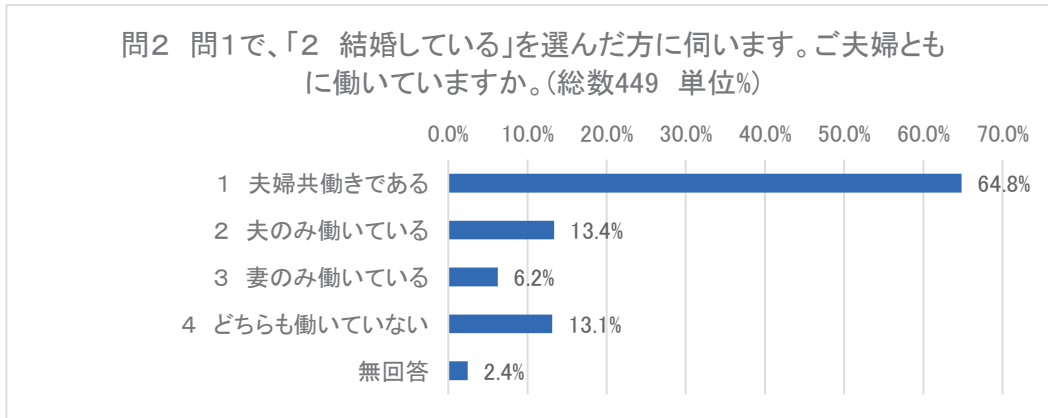
男女共同参画に関する市民意識調査(全体:回答者数 701:単位%)

問1 あなたは、次のうちどれにあてはまりますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



○「結婚している」が 64.1%、「結婚していない」が 22.3%となっています。

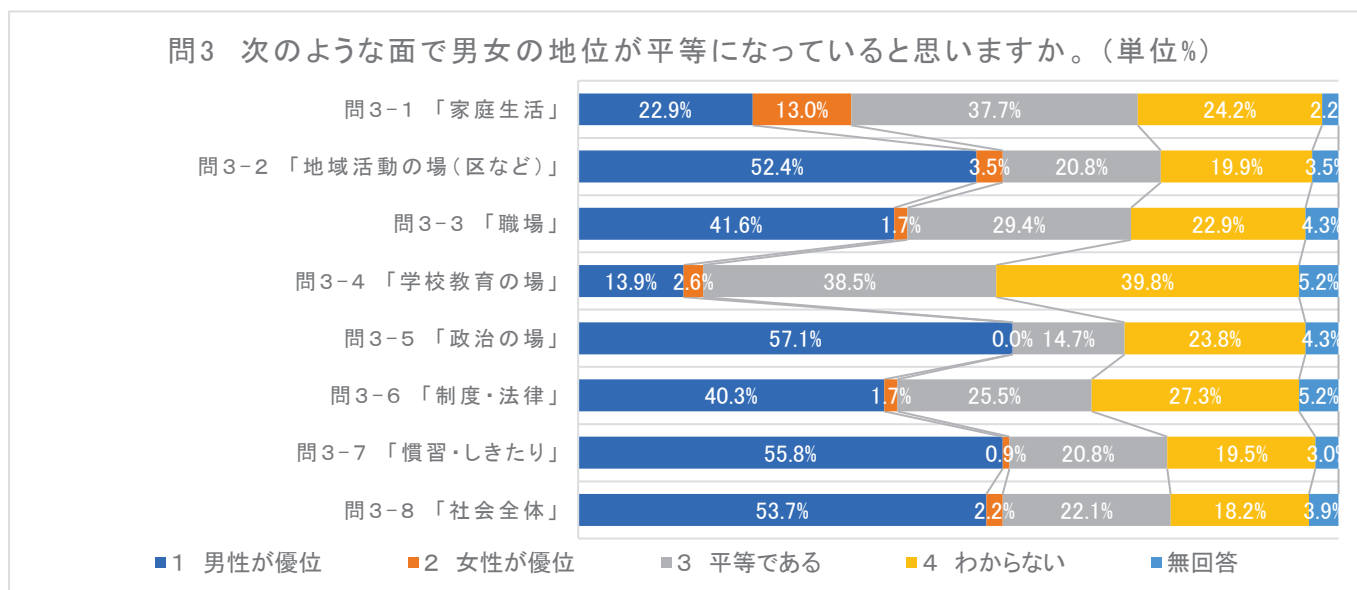
問2 問1で、「2 結婚している」を選んだ方に伺います。ご夫婦ともに働いていますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



○「結婚している」を選んだ方の共働き割合は 64.8%と最も多く、次いで「夫のみ働いている」が 13.4%、「どちらも働いていない」が 13.1%と続きます。

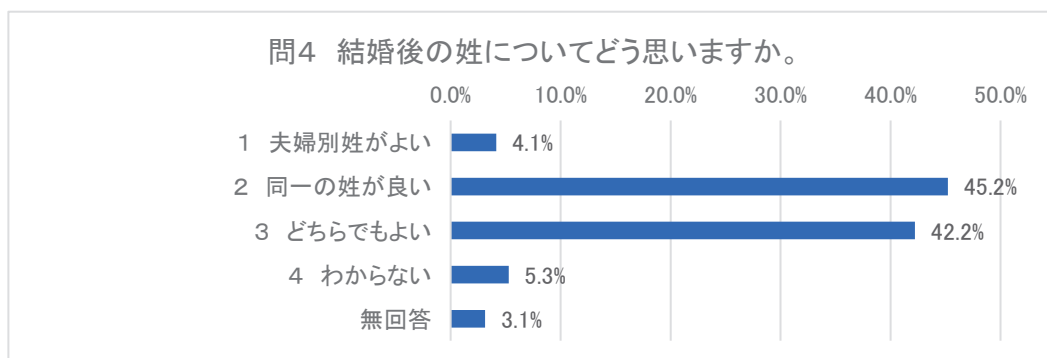
男女の平等感について

問3 次のような面で男女の地位が平等になっていると思いますか。



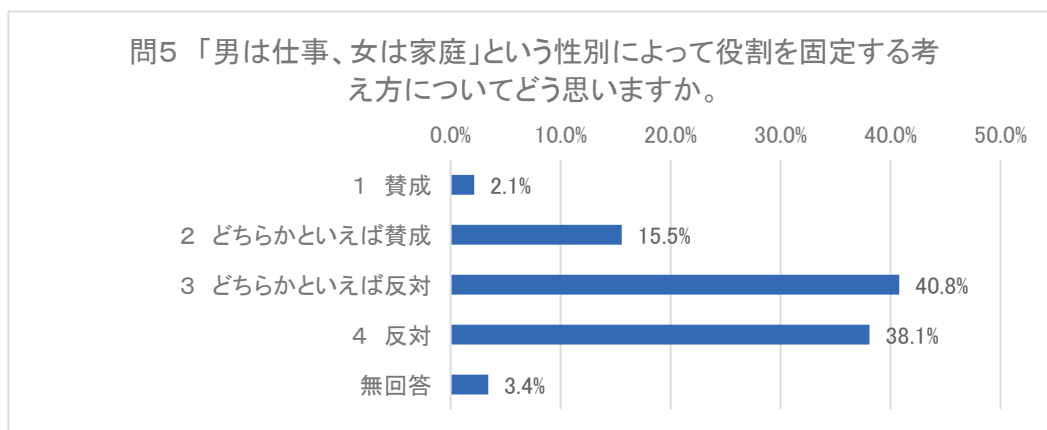
○多くの面で「男性が優位」であるという回答が多く、なかでも「政治の場」が57.1%、「慣習・しきたり」が55.8%、「社会全体」が53.7%、「地域活動の場(区など)」が52.4%と過半数を超えています。一方「家庭生活」では「女性が優位」が13.0%となっています。

問4 結婚後の姓についてどう思いますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



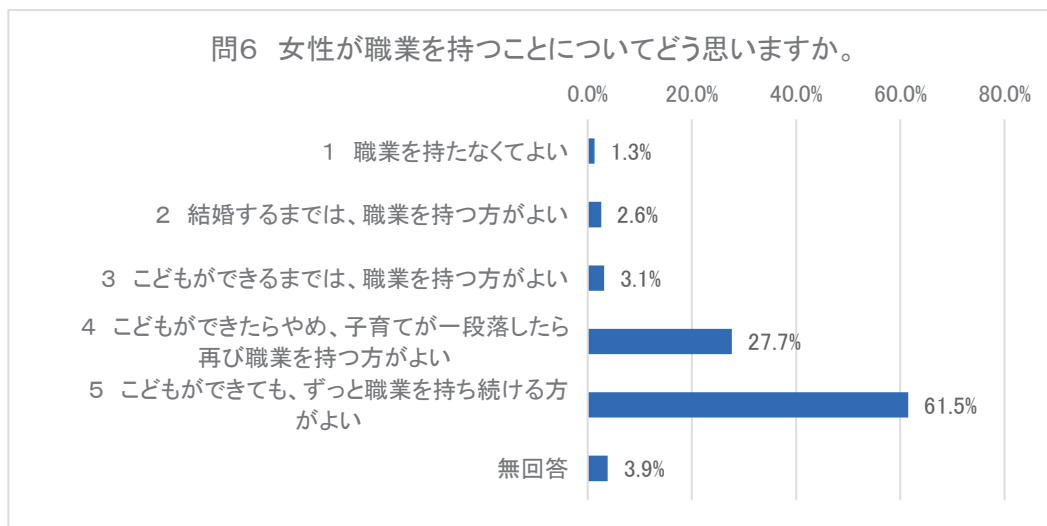
○「同一の姓が良い」が45.2%であった一方、「どちらでもよい」が42.2%とほぼ同率となっています。

問5 「男は仕事、女は家庭」という性別によって役割を固定する考え方についてどう思いますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



○「どちらかといえば反対」が40.8%で「反対」の38.1%と合わせると78.9%が否定的な回答となっています。

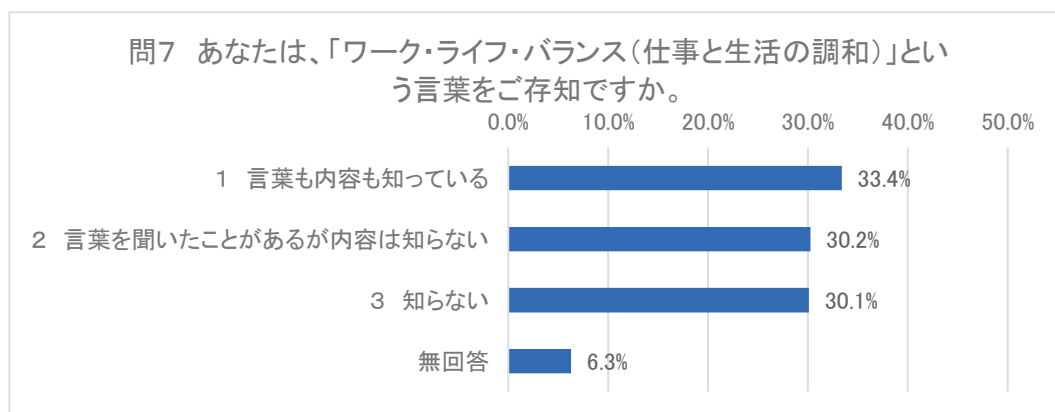
問6 女性が職業を持つことについてどう思いますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



○「こどもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい」が 61.5%と最も多い一方、「こどもができたらやめ、子育てが一段落したら再び職業を持つ方がよい」とする回答は 27.7%となっています。

ワーク・ライフ・バランスについて

問7 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」という言葉をご存知ですか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

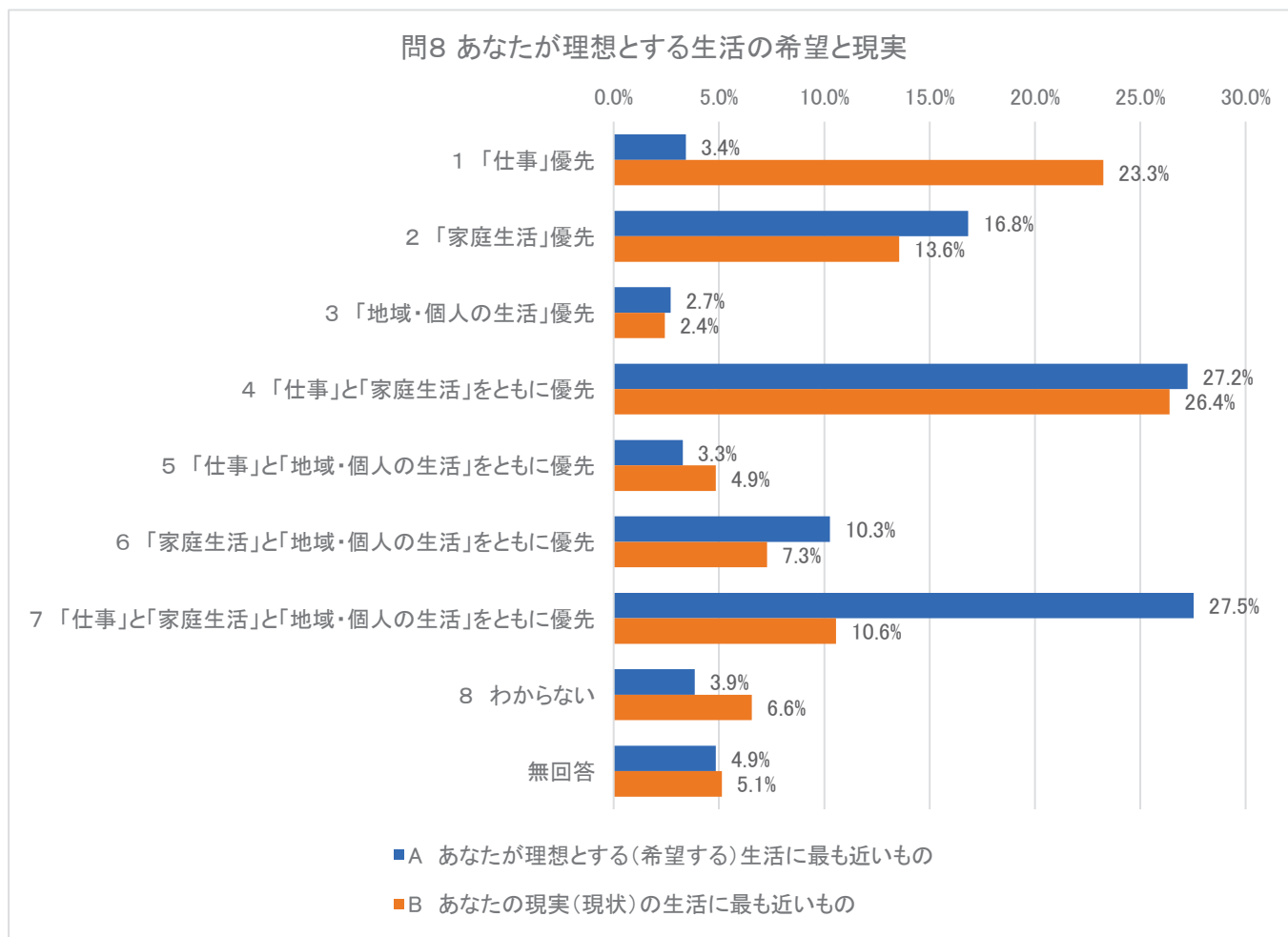


○「言葉も内容も知っている」、「言葉を聞いたことがあるが内容は知らない」、「知らない」それぞれが3割程度の回答となっています。

問8 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先度について、お尋ねします。ABそれぞれにつき、下表【選択肢】よりあてはまる番号を1つずつ選び、記入してください。

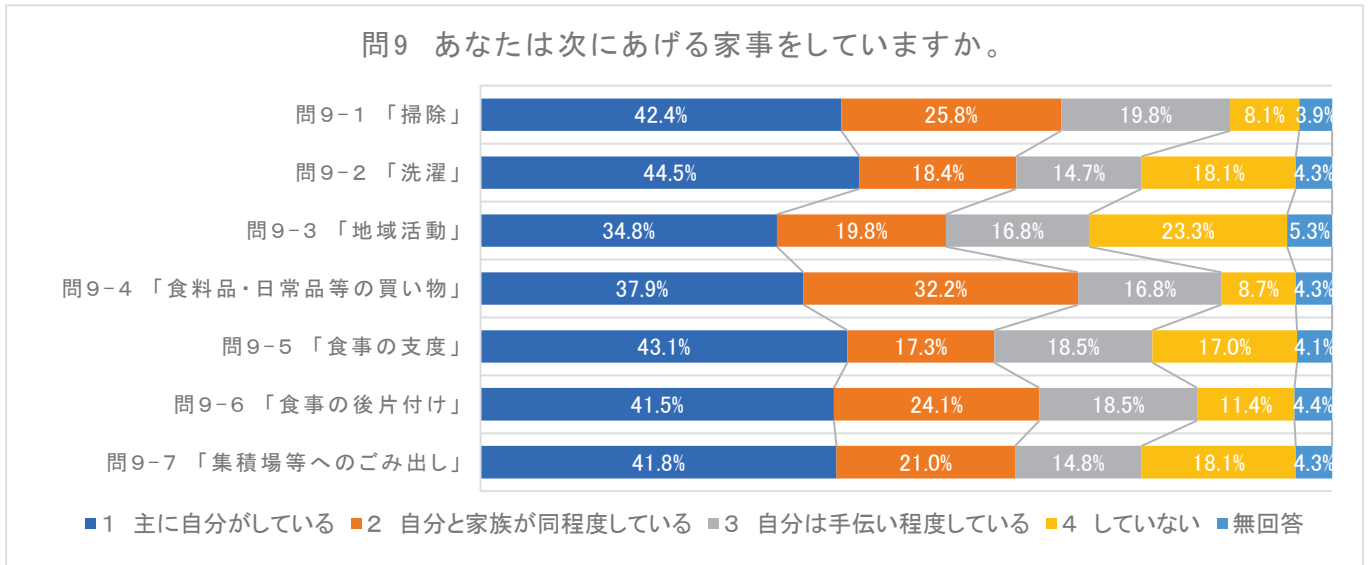
A ■あなたが理想とする(希望する)生活に最も近いもの

B ■あなたの現実(現状)の生活に最も近いもの



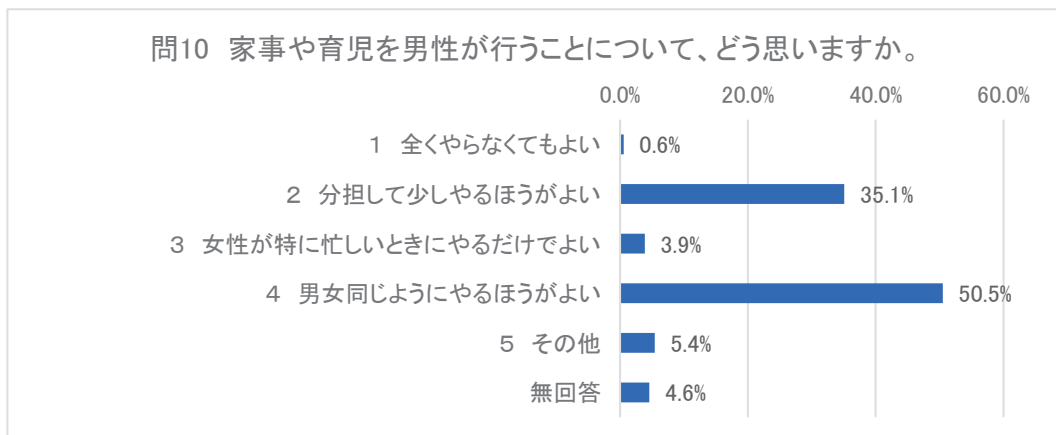
○「仕事」優先では「理想」が「現実」を大きく下回っており、希望する生活と現実の生活に乖離があることがわかります。一方「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をとも優先」では理想とする生活に近いと回答した割合が多くなっています。

問9 あなたは、次にあげる家事をしていますか。



○「主に自分がしている」と「自分と家族が同程度している」を合わせるとすべての項目で過半数を超えています。

問10 家事(炊事・掃除・洗濯・買い物など)や育児を男性(夫・父・子ども)が行うことについて、どう思いますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



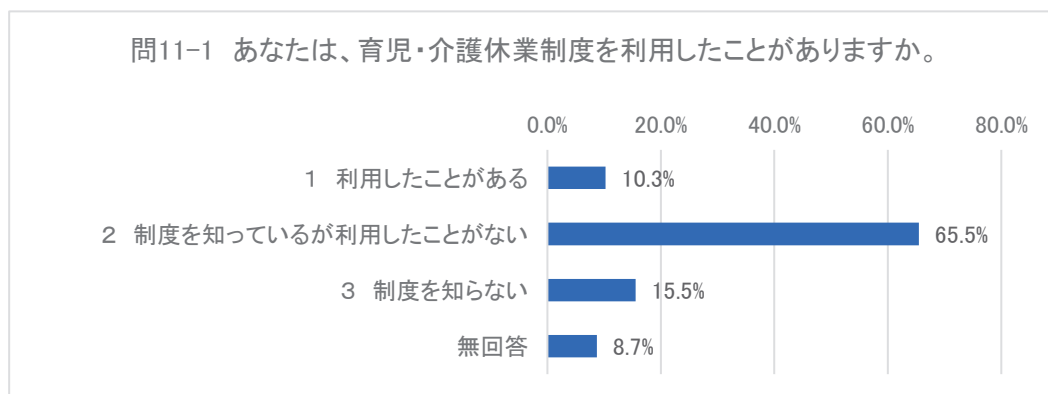
○「男女同様にやるほうがよい」が 50.5%で最も多く、次いで「分担して少しやるほうがよい」が 35.1%と続きます。

その他
お互いできない時や間に合っていない時にやれる家族が言われなくてもやってくれたらよいと思う。普段やっていない家族も家の中を見て、気づく心を持ってくれるとやっている人は助かると思う
この質問自体がよくわからないのですが…。その家庭によってなので、こうがよい！みたいな決めつけるような質問はイヤです。ちなみにうちは家事は私が好きでやってます。育児は2人でやってます
その時にできるものがやればよい
その時々に応じてやればよい。決めることではない
それぞれの家庭で、それぞれの生活の中で決めればよいと思う
それぞれの家庭の事情に合わせて分担すればよい
できる方がやればよい
やれるほうがやればよい
意識したことが無い
一人暮らし
家事に対する要求や満足度は個人によって違うので家族でできる限り負担を減らすための話し合いをして協力する姿勢が大切

家事の分担割合は家庭ごとに合わせたものがよい(夫婦の考え方などによって違う)
家事は基本得意な方(炊事、掃除)、気づいた方(掃除)、買い物などは分担あるいは仕事帰りや休日かな、育児は男がやれる補助的な考えです。母親の気持ちが大だい尊重している
家庭でやり易いように話をしたら、ケースバイケース
家庭の事情があるので決められない
各家庭のその時の事情により変化していくもの。家族でよく話し合って決めることだと思います。
決めなくてもよい、できる人がやる
個々の家庭のやり方でいいのでは…。
個々の家庭の事情で最良なやり方があると思う
個人の考えです
最後の例えばガス台の汚れを拭くとか野菜の入っていた袋を広げて干すとかツメまでやってくれると尚良いが「いいんだよ」といってウヤムヤになる
仕事、家事、育児、その他トータル負担が夫婦(親)で平等であるべき。例えば専業主婦(夫)が働く一方へ家事、育児の半分の負担を求めることは適切(平等)ではない。
自分の事は自分で
手の空いているほうがやる
女性が万一家事ができなくなるような場合に家事がきちんと出来るくらいには男性もやれるようにしておく事が必要と思われる
平等じゃいけないんですか？質問自体がわかりません
状況を見て臨機応変に対応する。分担すると逆にケンカの原因にもなりかねないため
息子夫婦は共に働いているので出来ることはお互いにしているが、息子の仕事では泊りもあるし早出、遅帰りも普通なのでどうしても女性になることが多い
体が疲れているとみると自然と先に動いてくれる
男だから女だからということではなくて、家族に必要なことをそれぞれの家庭のバランスで行えばいいと思う。(収入を得ること、家事、育児、介護、学ぶことを家族全員で分担するというイメージです)
男女の区別無く、その都度出来る方がすれば良い
同じようにやるが良いが、内容はできることを分担でよい
同じように対等にやるほうがいい
得意なことを話し合ってやる。協力するのは当たり前
得意分野を話し合って決める。
分担し、必要時には積極的に手を出すのが良い
分担して家族みんなで作る
両性の話し合いによる

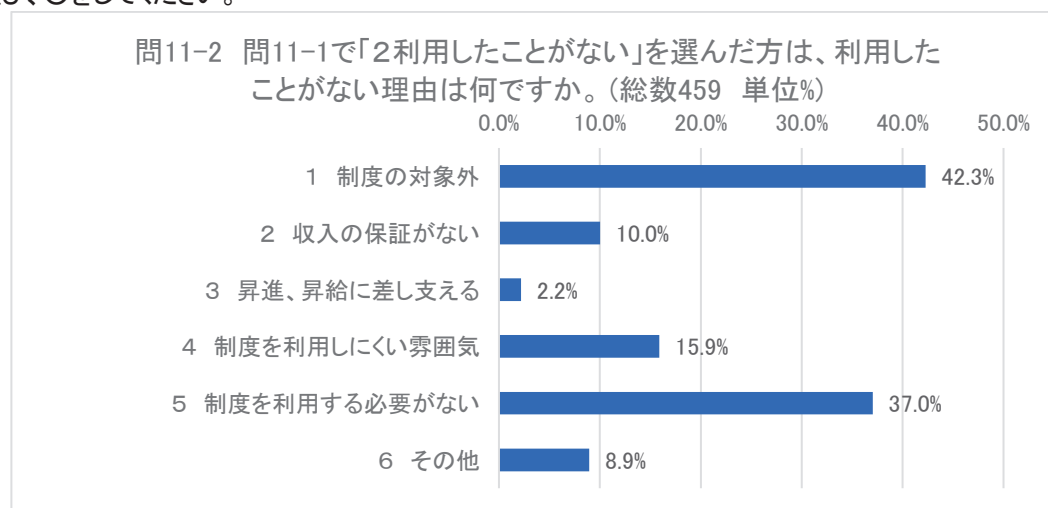
子育て・介護について

問 11-1 あなたは、育児・介護休業制度を利用したことがありますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



○「制度を知っているが利用したことがない」が 65.5%で最も多く、次いで「制度を知らない」が 15.5%、「利用したことがある」が 10.3%で、75.8%が制度を知っていると回答しています。

問 11-2 問 11-1で、2「利用したことがない」を選んだ方に伺います。利用したことがない理由は何ですか。あてはまるものを3つまで選び、○をしてください。

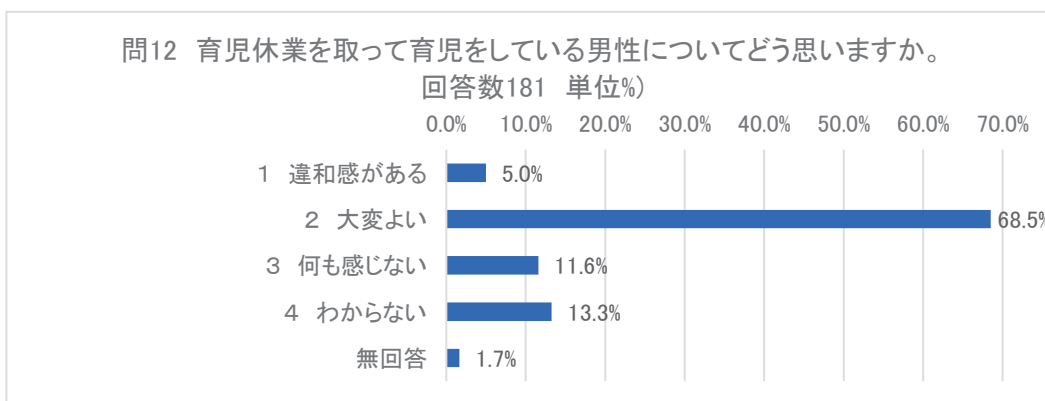


○「制度の対象外」が 42.3%と最も多く、次いで「制度を利用する必要がない」が 37.0%、「制度を利用しにくい雰囲気」が 15.9%と続きます。

その他

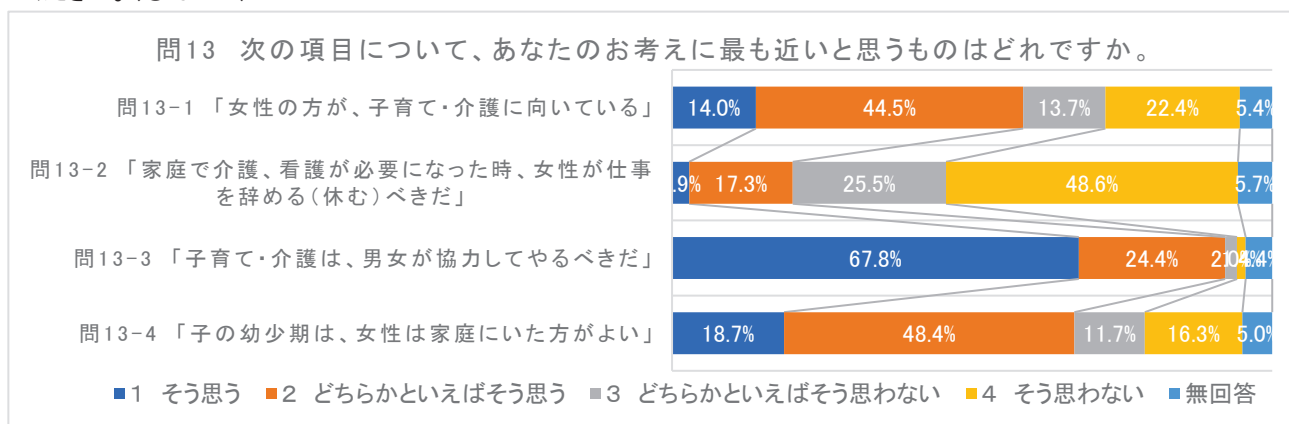
利用できる職場環境ではない／利用する機会がなかった／利用したい時に制度がなかった／無職だから／必要だった時(育児、介護)は仕事についていなかったから／農業のため介護中も制度の利用は意味なかった／年齢が違って制度がなかった／年寄りには利用する機会がなかった／独身であり、両親もおらず、兄弟も各自家族が有り、現在必要としていない／当時育休はなかった。介護時はパートだったので休んでなんとか乗り切った／当時は制度がなかったと思う(介護)／退職したため／対象の時期に仕事をしていなかったため／祖父母の協力にて利用する必要がなかった／昔は今みたいに制度がなかった／昔はそういう制度がなかった／制度を利用するということが無い時代でした／制度はあるが利用していない／制度がなかった／人手不足／周囲の人がサポートしてくれるから／自分の時は必要がなかった／自分の時にはなかったのでは？／自営業のため、制度は関係なし／自営業だから／時代が早かった／私のころはその制度がなかったため／子供が生まれて家庭に入ったので／子供ができてから働いてない／子供がいらない 勤めていない(自営)／仕事が忙しくてとれる状況ではなかった／仕事、その制度がなかった／現在は利用する状態にない、ありがたいことに／現在、そのような状況になっていないため／結婚していない／機会がない／解雇されるかもしれないと思うから(保証がないから)／過去の制度がなかった／家族私を含めて未婚子無しだから／まず、結婚をしていないから／その立場になっていない／33年前職場で育児休業制度が始まったとき、利用ができなかった／25年前制度あったのかい？有給休暇は利用した

問12 育児休業を取って育児をしている男性についてどう思いますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



○「大変よい」が68.5%と最も多い一方、「違和感がある」と回答した割合は5.0%でした。

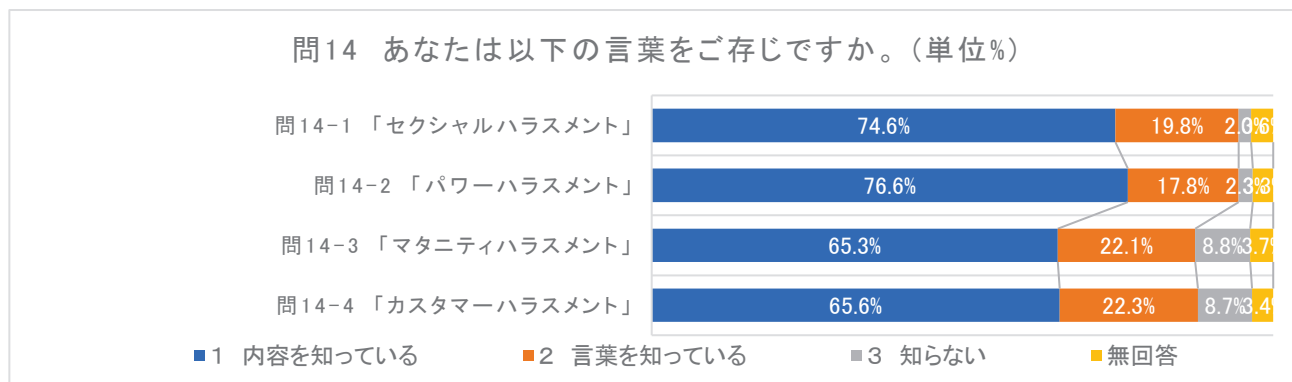
問13 次の項目について、あなたのお考えに最も近いと思うものはどれですか。それぞれの項目のあてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



○「子育て・介護は男女が協力してやるべきだ」において「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は92.2%にのびました。

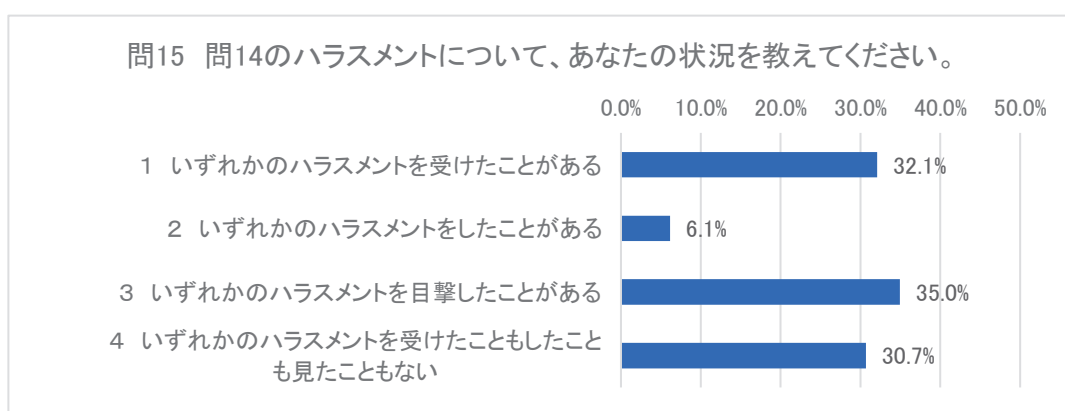
労働環境について

問 14 あなたは、以下の言葉をご存知ですか。それぞれの項目のあてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



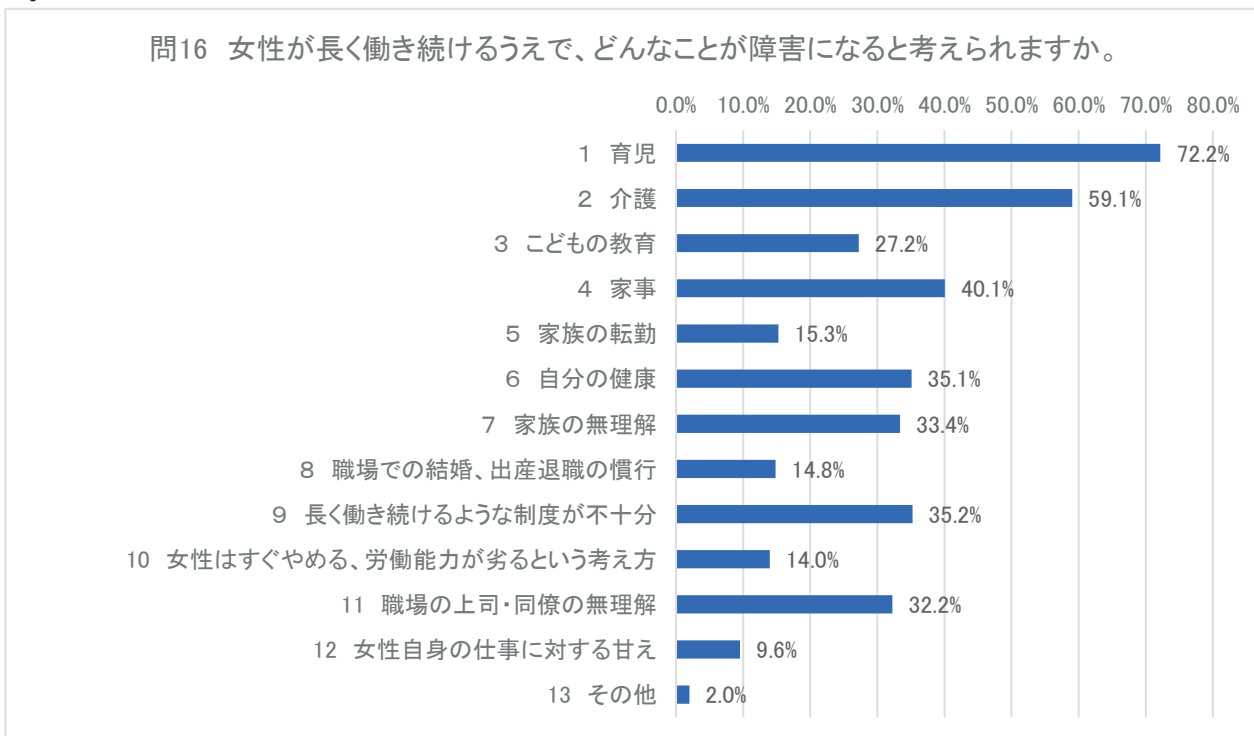
○各項目ともに「内容を知っている」は6割以上、「言葉を知っている」まで含めると9割程度を占めています。

問 15 問 14 のハラスメントについて、あなたの状況を教えてください。あてはまるものすべてに、○をしてください。



○「いずれかのハラスメントを目撃したことがある」が 35.0%、「いずれかのハラスメントを受けた事がある」が 32.1%とする一方、「いずれかのハラスメントを受けたことも見たこともない」が 30.7%となっています。また「いずれかのハラスメントをしたことがある」は 6.1%となっています。

問16 女性が長く働き続けるうえで、どんなことが障害になると考えられますか。あてはまるものを5つまで選び、○をしてください。



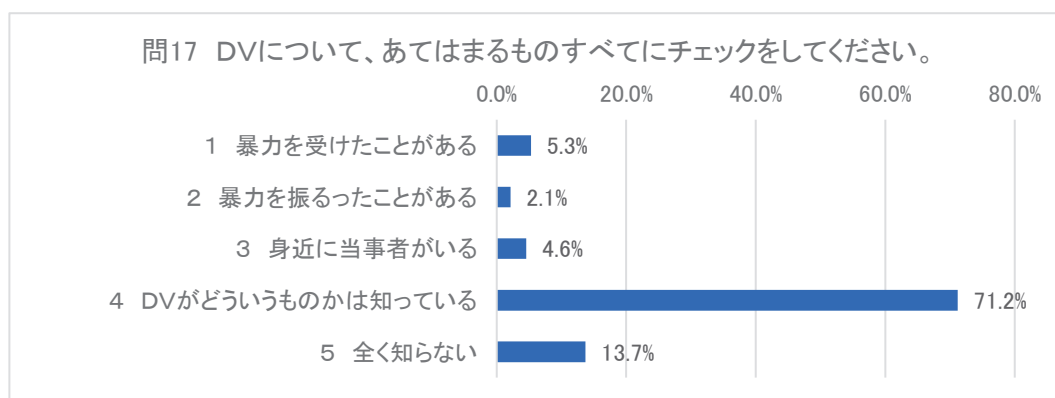
○「育児」が 72.2%で最も多く、次いで「介護」が 59.1%、「家事」が 40.1%と続きます。「長く働き続けるような制度が不十分」や「職場の上司・同僚の無理解」といった回答も3割以上にのぼります。

その他

10・12のこの問い自体がおかしいです／12の選択肢があるのはおかしくないですか？だから男女差別はなくなるんですよ！／8時間が基準の労働時間／仕事に対する情熱、使命感がなくなること／収入面／女性の意識それ自体／女性の責任感も問われる／職場の休暇、時短制度が不十分(男女ともに)人材不足による実質的な負担／体調の変化／男性にも同等の質問もするべき 女性軽視の質問では？／地区等の行事が多い(地区清掃・PTA・地区の役員など)、高齢者が考え方を改める)／特に障害はないと思います／年齢制限を問わず能力、意欲のある人を活用すべき／役職になれない、ならない／理不尽な近所からの言葉・態度

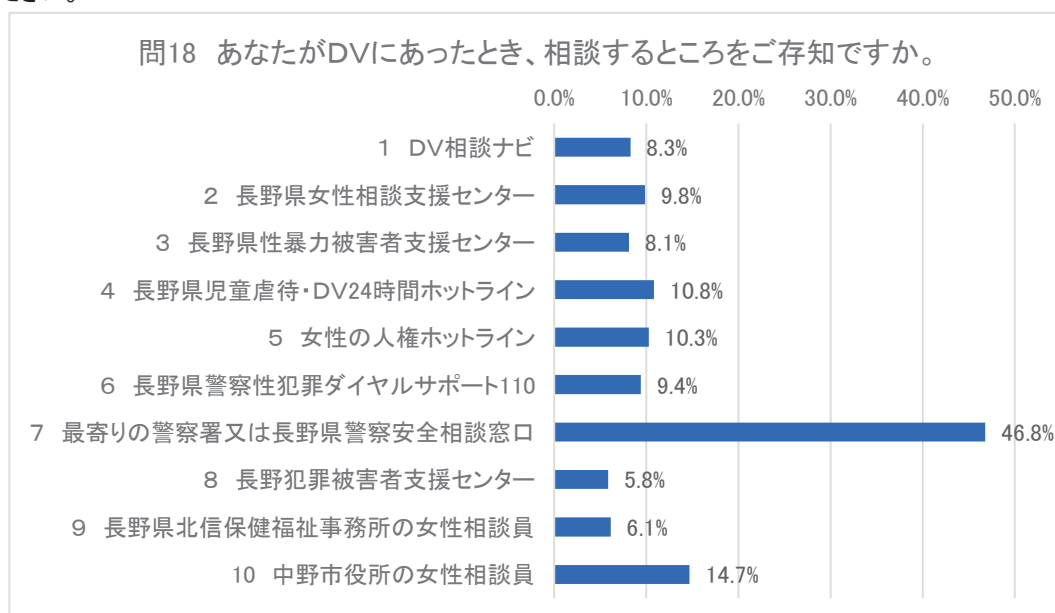
男女の人権問題について

問 17 いま、身近な人(夫・妻・恋人)からの暴力が、DV(ドメスティック・バイオレンス、配偶者等に身体的又は精神的な苦痛を与える暴力的行為)として問題になっています。DVについて、あてはまるものすべてに、○をしてください。



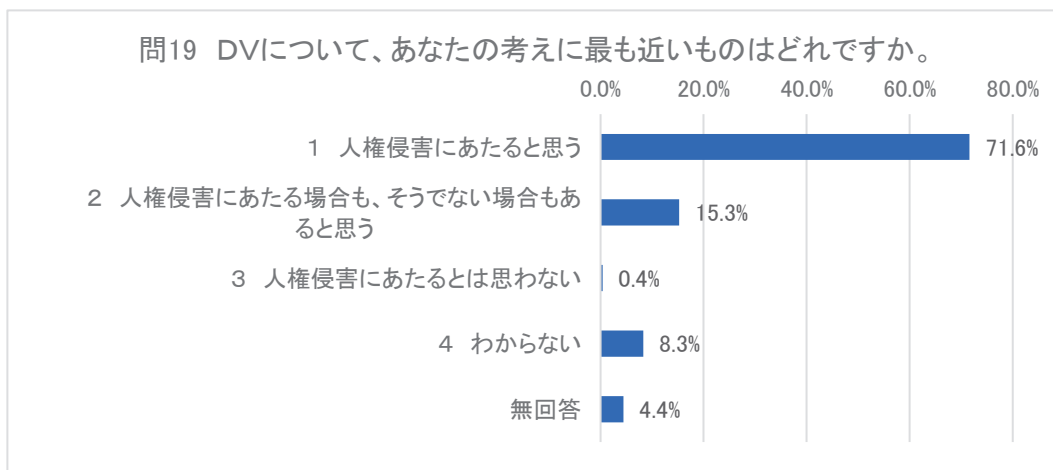
○「DV がどういうものかは知っている」が 71.2%で DV の認知度は7割程度となっています。また「暴力を受けたことがある」は 5.3%、「暴力をふるったことがある」は 2.1%となっています。

問 18 あなたがDV(ドメスティック・バイオレンス)にあったとき、相談するところをご存知ですか。あてはまるものすべてに、○をしてください。



○「最寄りの警察署又は長野県警察安全相談窓口」が 46.8%と最も多くなっています。その他の各項目はいずれも1割前後の認知度となっています。

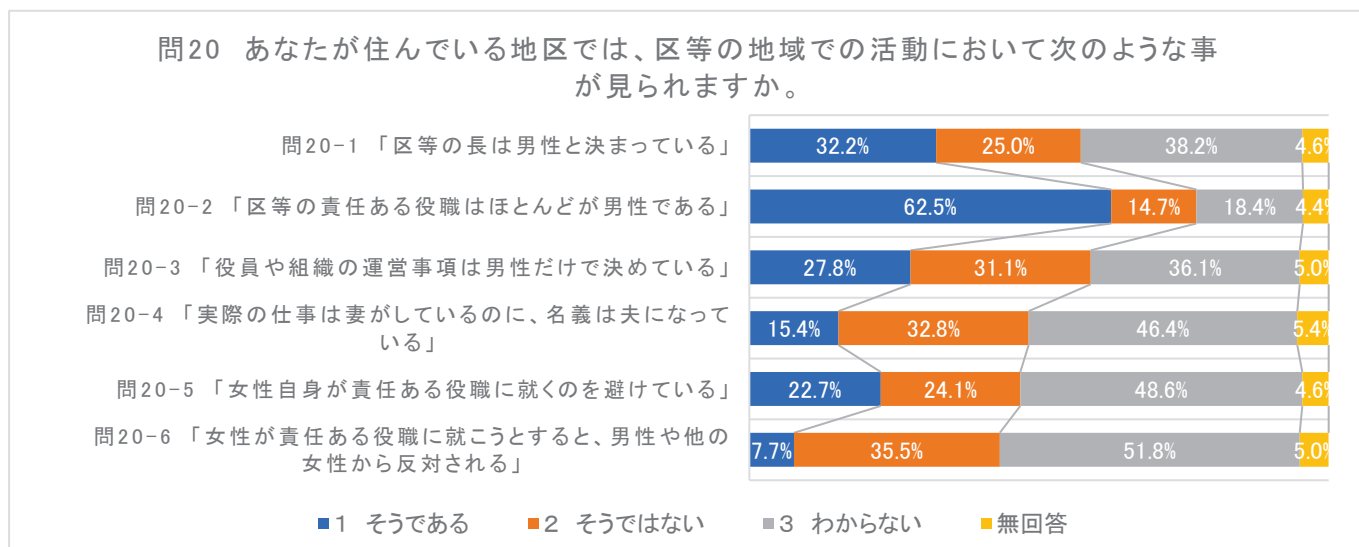
問19 DV(ドメスティック・バイオレンス)について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



○「人権侵害にあたると思う」が71.6%と最も多くなっています。

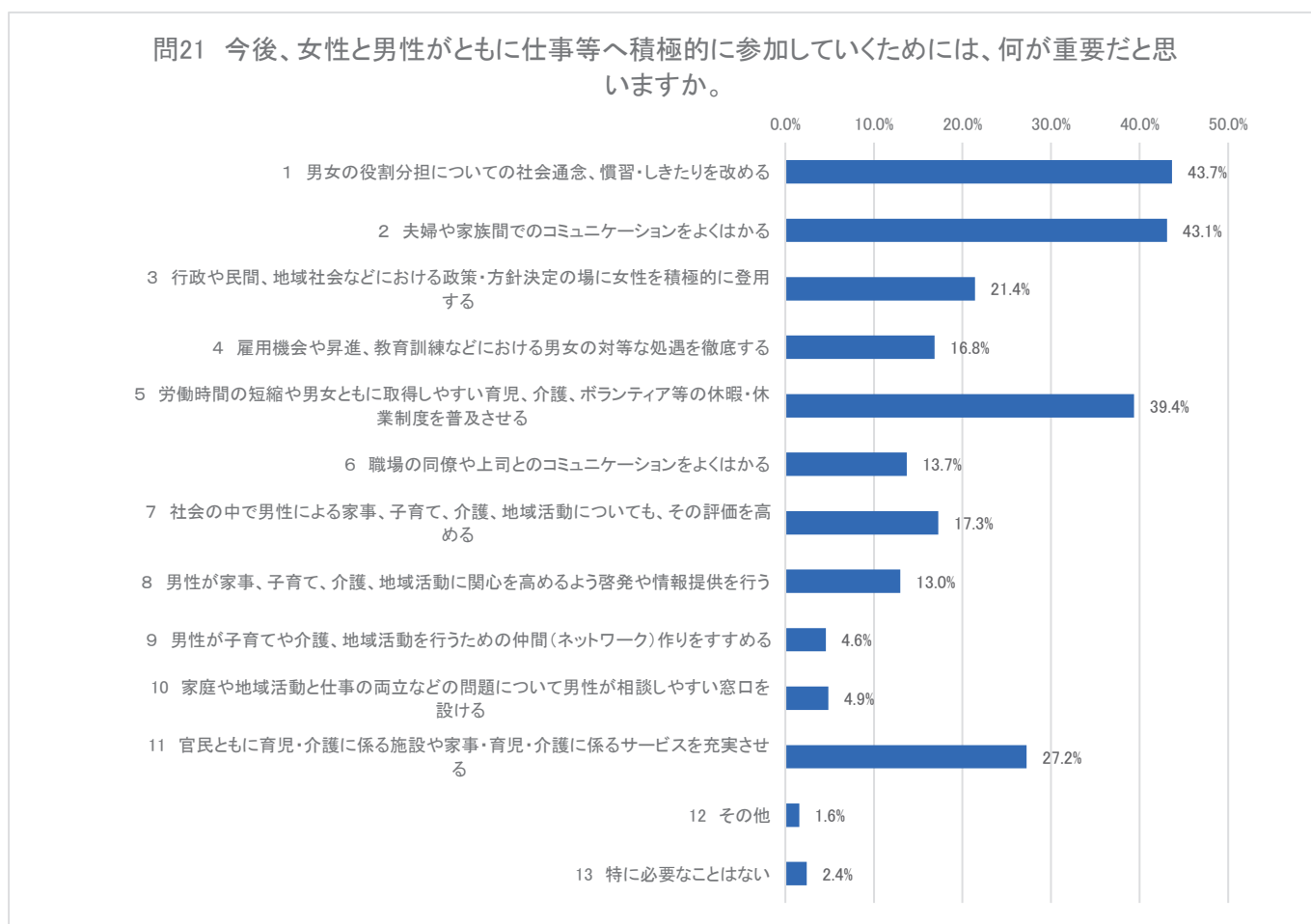
地域社会活動について

問 20 あなたが住んでいる地域では、区等の地域での活動において、次のような事が見られますか。それぞれの項目のあてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



○「区等の責任ある役職はほとんどが男性である」では「そうである」が 62.5%となっています。

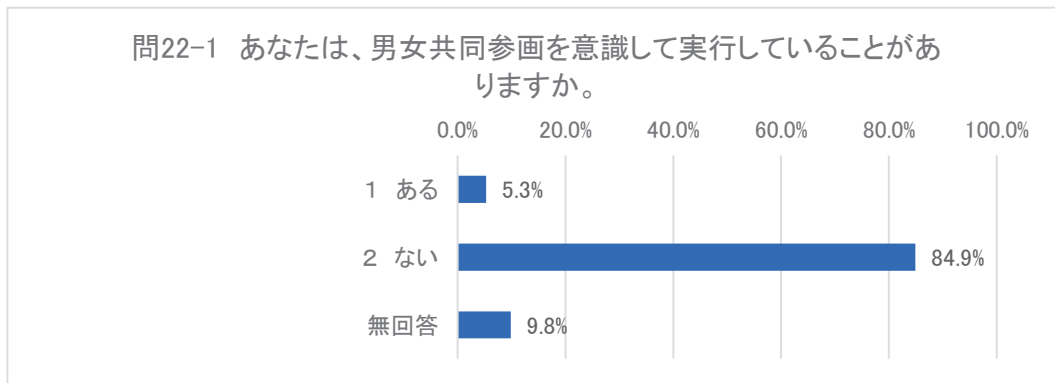
問 21 今後、女性と男性がともに仕事、家庭、子育て、介護、地域活動等に積極的に参加していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選び、○をしてください。



○「男女の役割分担についての社会通念、慣習・しきたりを改める」が 43.7%で最も多く、次いで「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」が 43.1%、「労働時間の短縮や男女ともに取得しやすい育児、介護、ボランティア等の休暇・休業制度を普及させる」が 39.4%と続きます。

その他
 その答えを市民に求めないでください。自分たちで考えられる人が先頭に立つべき／そもそも女性は妊娠して出産し母性がある。男性にそれを強要するとストレスになる。女性が働かならサービスの充実をはかるほかないと思う／それよりも年寄りを黙らせる。年功序列をやめる／経済環境の安定／所得を増やす政策を推進する／女性が積極的に仕事をする必要がないと思っているので、女性が働かなくても生活が成り立つ社会づくり、賃金の引上げ／女性自身も女性であるという意識を捨て、社会人であるという意識を持つこと／上記は全部必要であると思う／全項目必要です／男性の意識変革／地域活動の必要、不要を精査する

問 22-1 あなたは、男女共同参画を意識して実行していることがありますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



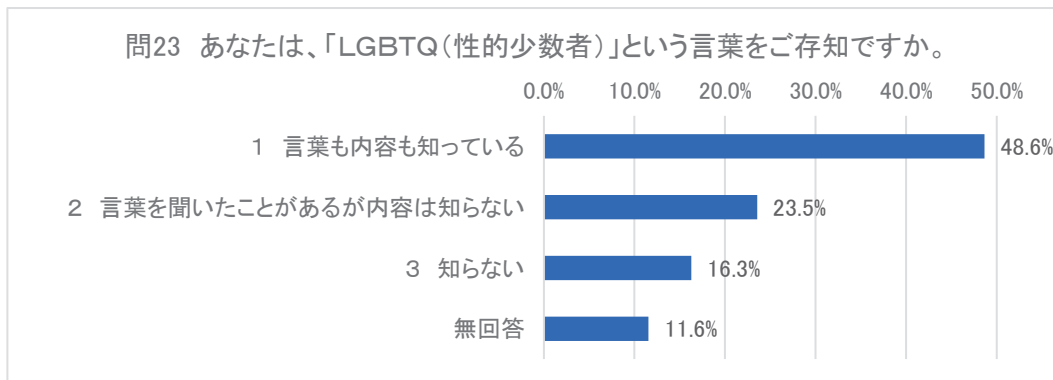
○男女共同参画を意識していないが 84.9%となっています。

問 22-2 問 22-1で、1「ある」を選んだ方に伺います。男女共同参画を意識して実行していることがありましたら、ご記入ください。

問 22-2 問 22-1 で「1ある」を選んだ方【男女共同参画を意識して実行していること】
話を聞く時など男女の差をつけない。
役職、上に立つ人をなるべく女性にする。
農業、共同作業、同じ仕事をするのではなく、できる仕事をして農産物の育成に協業する。
男女関係無く、良い意見であれば採用する。
男女を意識しない。能力、実績、コミュニケーションで評価。
男女でなくその人を見る。
炊事のお手伝いをしています。
女性だからという考えを排除している。
女性だから、男性だから、という言い方考え方は避けたいと思っている。
女性が働きやすい環境にする様心がけている。
出役要請等において性別関係なく平等に機会、役割をふっている。
手の空いている人が家事をする。
子供の行事には、2人で参加することになっている。何かするとき、お互いのことを考えて決めたりしている。
子育てへの主体的参加。仕事の上での男女平等。アンコンシャスバイアスについての知識修得。
仕事をする上で、女性意見を聞いて参考にしている。
仕事や役職割り当て 男女ではなくて個人の特性・能力に応じて決めるようにしている。
高齢者の買い物や通院の際に手伝ったことがある。
区長主婦として役所で参加して体験した。(市議員の会議の開催の討論会に参加したことがあった)
家庭内での夫は昔ながらの古い考え方なので事あるごとに私から時代は「令和」、昭和の時代は古い…と言っていますが聞かずに黙る所があります。(外では理解ある人のように装っているみたいですが)子供たち、とくに男、息子には我が家をまねしないように反面教師にしてねと言っています。仕事は大変ですから感謝していますが。
家事はできる人ができるときにできることをする。
家事は、常に平等。
ボランティア。
50～60代にしていたが後期高齢者になりやめた。

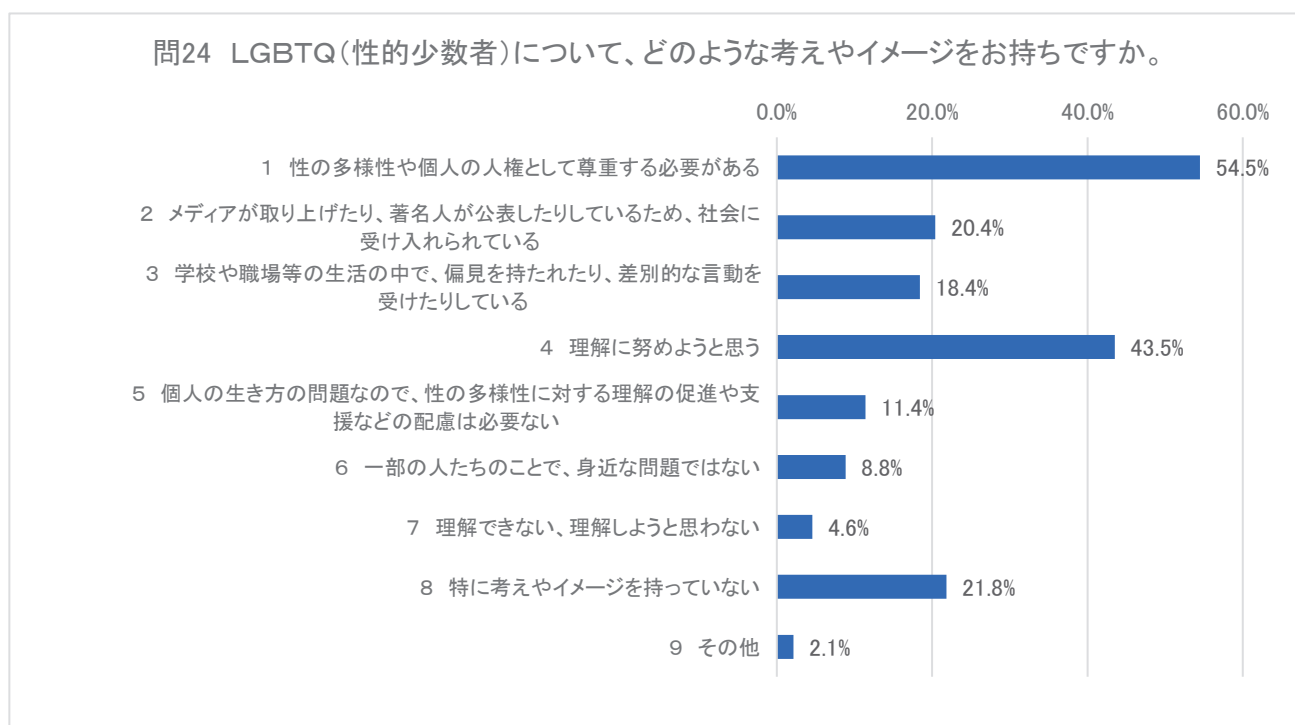
性の多様性について

問23 あなたは、「LGBTQ(性的少数者)」という言葉をご存知ですか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



○「言葉も内容も知っている」が 48.6%で最も多く、次いで「言葉を聞いたことがあるが内容は知らない」が 23.5%、「知らない」が 16.3%となっています。

問24 LGBTQ(性的少数者)について、どのような考えやイメージをお持ちですか。あてはまるものを3つまで選び、○をしてください。



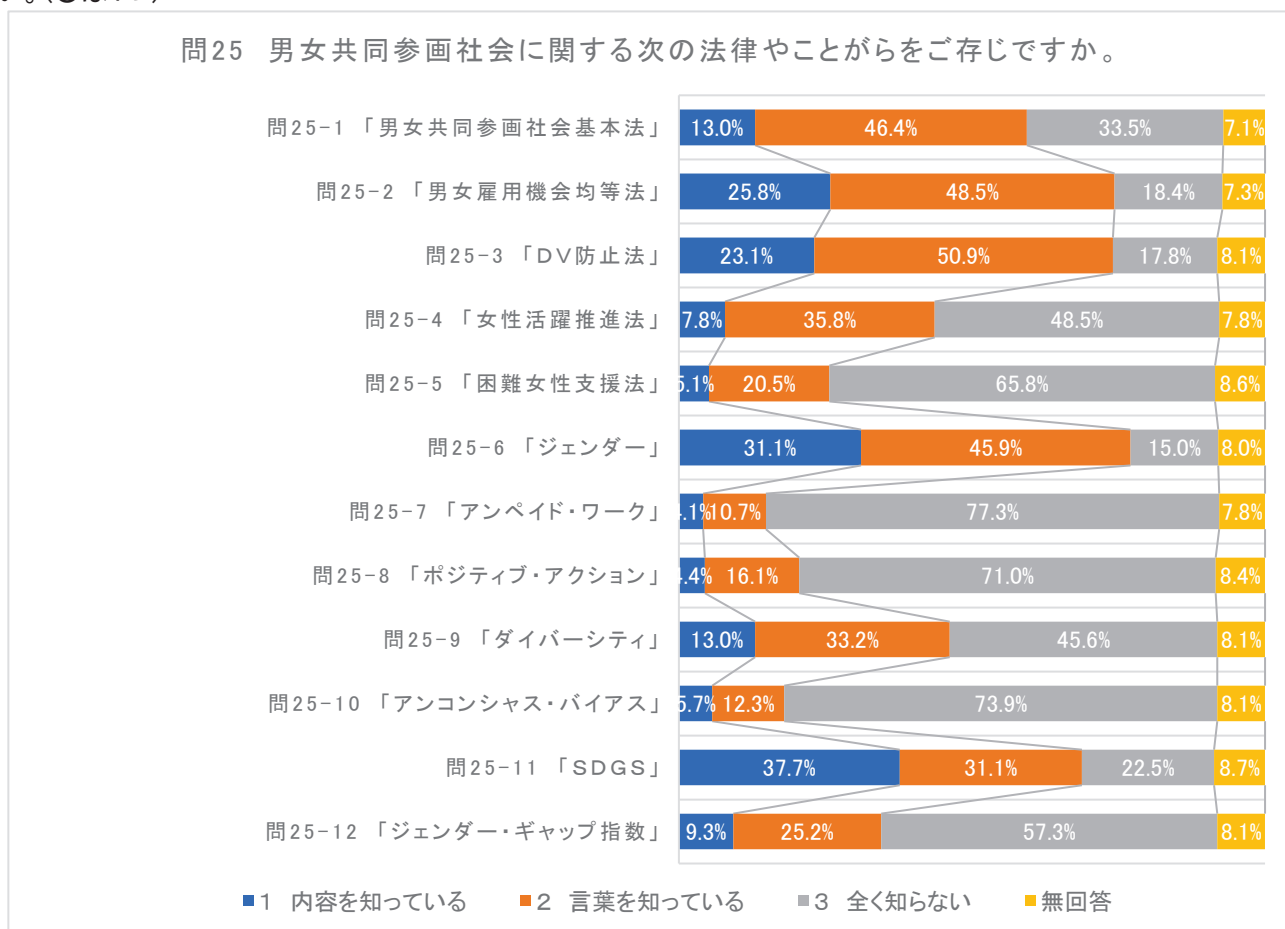
○「性の多様性や個人の人権として尊重する必要がある」が 54.5%で最も多く、次いで「理解に努めようと思う」が 43.5%、「特に考えやイメージを持っていない」が 21.8%と続きます。

その他
理解するのは大切だと思う。しかし性的少数者が主体的になるのは違うと思う。子孫繁栄の観点からである。
発達障害。
認めることが大事。
特に何も思わないが、当事者同士の結婚とか、子供を持つということが理解できない。
同じ人間だと思ってます。なので特別視はしていません。
尊重されるのは大切だが過剰に意識されすぎている部分もある。
生物として子孫を残せないカップルとか自己満でしかない。それで少子化問題がさらに進む。
人権として尊重する必要があるが、それが特別なことではなく“当たり前”になってきつつある変化を感じます。
少数派をいじめたり避難したりしなきゃいい。

自由に生きればいい。
私の友達が LGBTQ です。なので特に特別なことは思っていない。考えたこともありません。
差別を受けるのは間違いだけど、まだ何も社会が追いついていないのに権利を承認していくのは違うと思う。トイレは男性、女性、もう1つ作るなどの対策が必要。
行き過ぎた LGBTQ はいかがなものか。社会的責任も必要あり、(持続的社会の観点から)
公共トイレの在り方についてもっと検討を深める。
個人の内面の問題もあるため画一的に規定することはできない。
逆に理解を強要するような環境が強まっているように感じる。学校ですべての生徒にピンク色のマスクを配布され着用を求められた事があったようだ。
わたくしは何もなく社会を終わっている。過ぎている。
わかりません。
もし自分の身内に関連者がいたら悩み苦しむと思う。
一人ひとりの考え方で受け入れ方も変わる。受け入れられない人たちが嫌がらせ等の行為に走ると思う。そういう人たちへの考え方の変え方の支援も必要。
トランプ大統領に選んだ米国を見ると、時期尚早なのかと思う。他国の戦争を止めないで自国の人権に努力するのは、不思議な気がする。命は何よりも大切と教えられてきたのに。
どうでもいい。
LGBTQ 問題の概念は日本の文化になじまない。
LGBTQ の主張が強すぎる。悪目立ちしている。日本においては昔から存在して欧米の差別意識とは違う。無理やり主張することではない。何を今さらと思う。周囲がやさしく受け入れるだけでよいのでは？
DNAの研究が進み科学の発達により色々な人の事情も認められつつある世で一人ひとり人格が認められえることは良いことだ。
1 の様に尊重する必要があるが、LGBTQ を利用し犯罪も多発していると聞くので難しいなと思う。

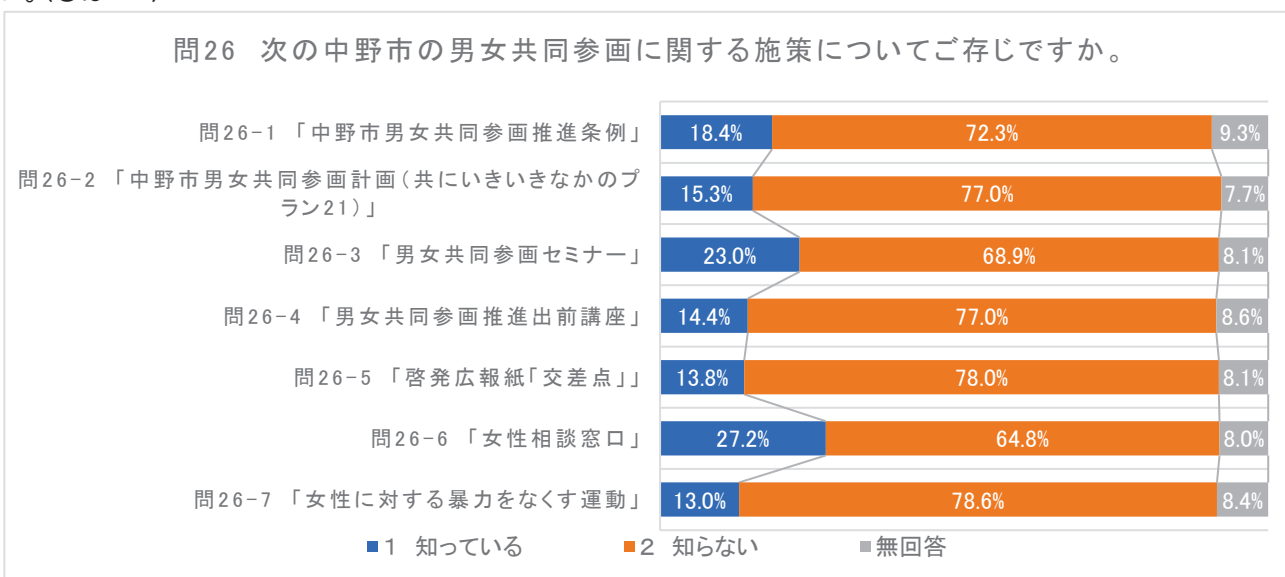
男女共同参画の施策等について

問 25 男女共同参画社会に関する次の法律やことがらをご存知ですか。それぞれの項目のあてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



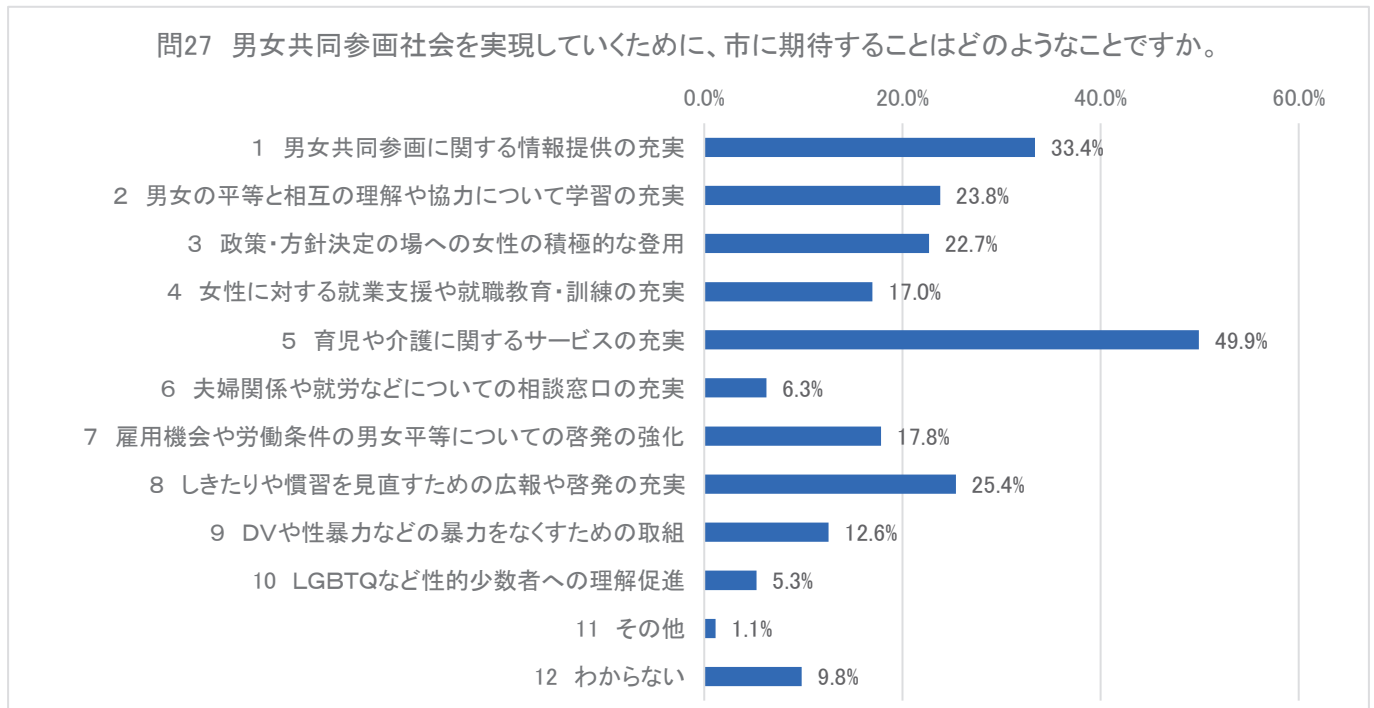
○「内容を知っている」は「SDGs」の 37.7%が最も多く、次いで「ジェンダー」が 31.1%、「男女雇用機会均等法」が 25.8%と続きます。一方で「アンペイド・ワーク」「アンコンシャス・バイアス」「ポジティブ・アクション」では「全く知らない」とした回答が7割を超えています。

問 26 次の中野市の男女共同参画に関する施策についてご存知ですか。それぞれの項目のあてはまるものに○をしてください。(○は1つ)



○各項目とも「知らない」が「知っている」を大きく上回っています。

問 27 女性も男性も対等なパートナーとして社会のあらゆる分野に参画する男女共同参画社会を実現していくために、市に期待することはどのようなことですか。あてはまるものを3つまで選び、○をしてください。



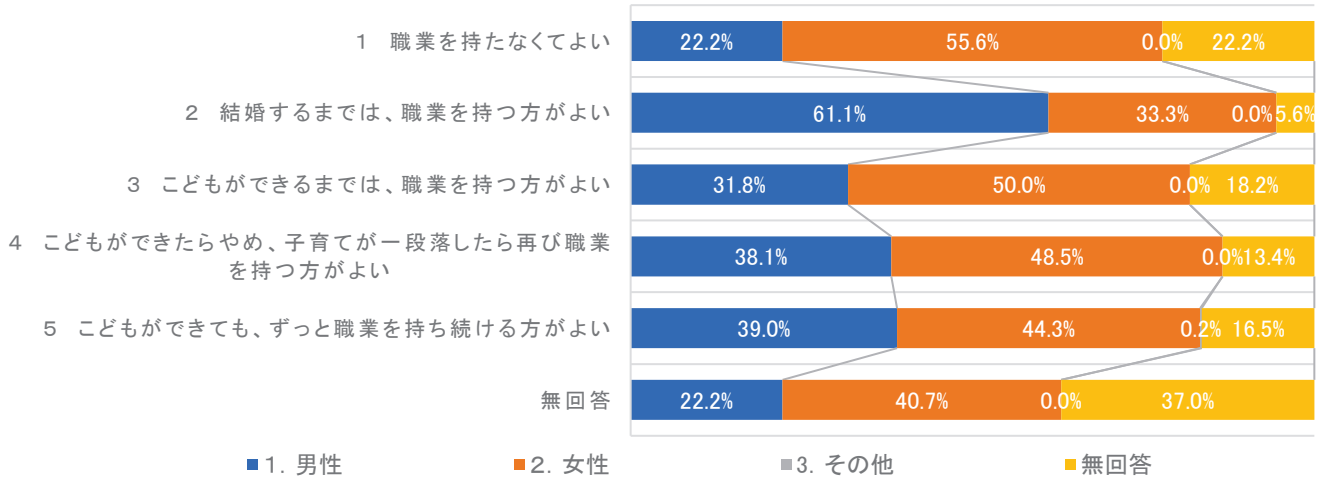
○「育児や介護に関するサービスの充実」の 49.9%が最も多く、次いで「男女共同参画に関する情報提供の充実」が 33.4%、「しきたりや慣習を見直すための広報や啓発の充実」が 25.4%と続きます。

その他

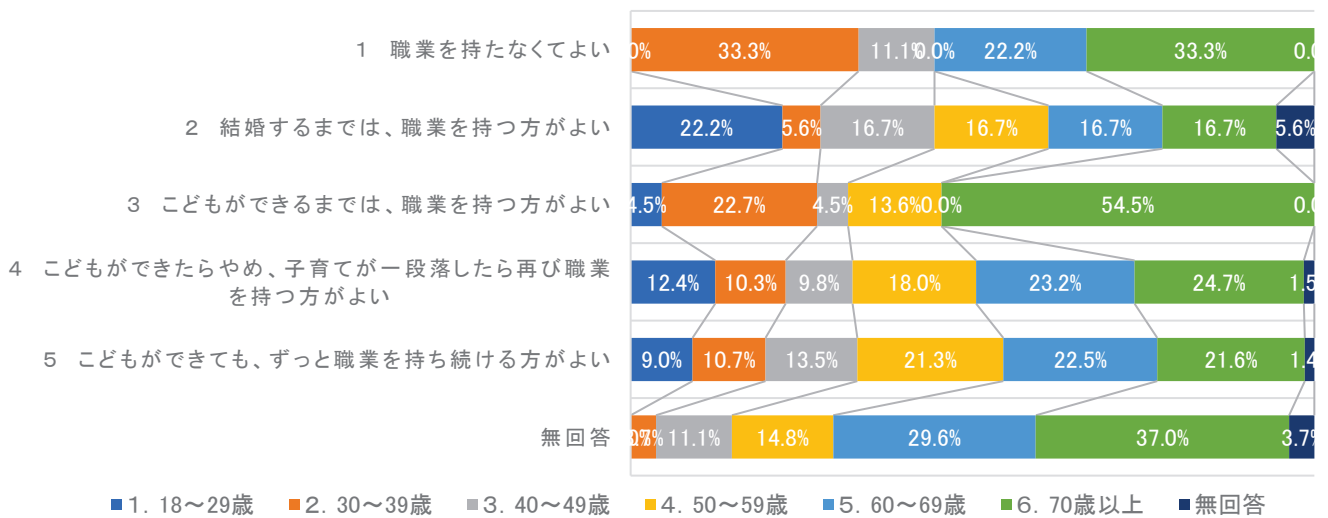
建設業、土木業などの親方気分の方の教育／行政に期待していない。できないと思う／女性市長の誕生／女性消防、女性部(安協)みたいな女性～をなくす／他に注力してください／地域、親子間における価値観が変わらない限り難しい／地域の実情の理解。地域活動に参加したくないということを理解していますか?無駄な会議を平日にしたり、市外勤めが多い現状を理解してください／直面しない限り答えは出ない無関心

男女共同参画に関する市民意識調査(クロス集計 回答者数 701 単位%)

問6 女性が職業を持つことについてどう思いますか。(男女別単位%)

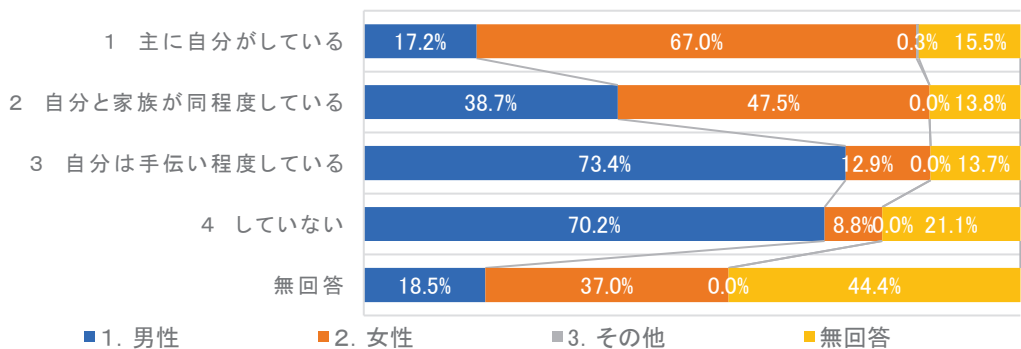


問6 女性が職業を持つことについてどう思いますか。(年齢別単位%)

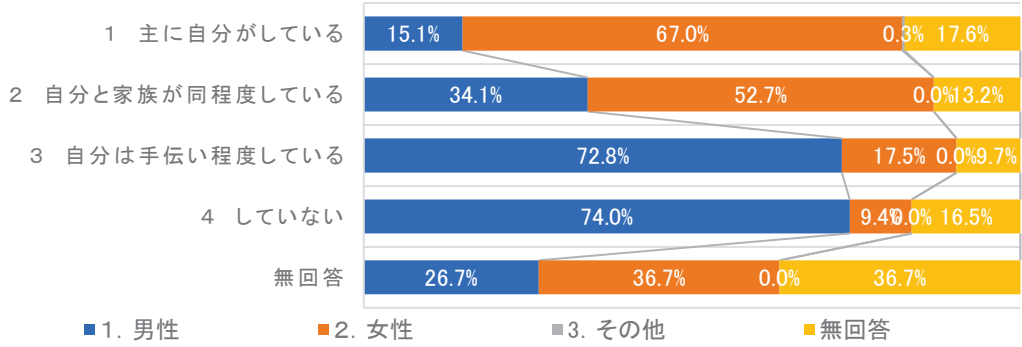


問9 あなたは、次にあげる家事をしていますか。

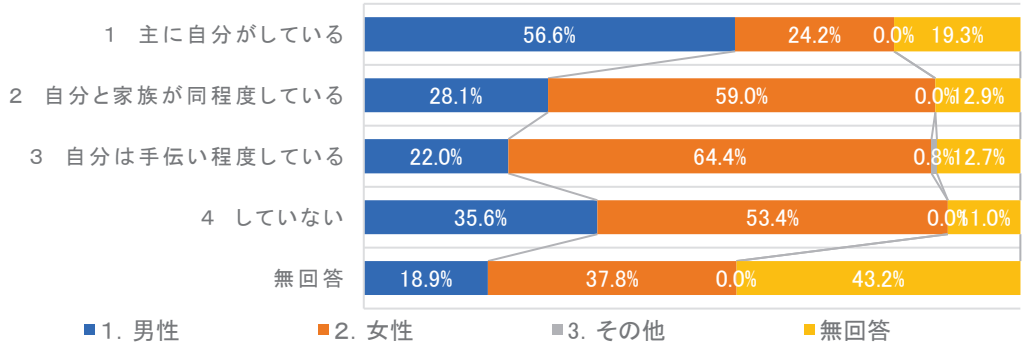
問9-1 「掃除」(性別単位%)



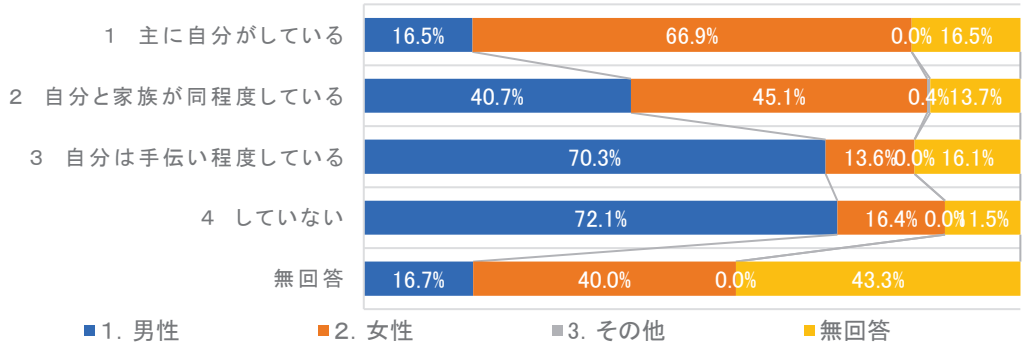
問9-2 「洗濯」(性別単位%)



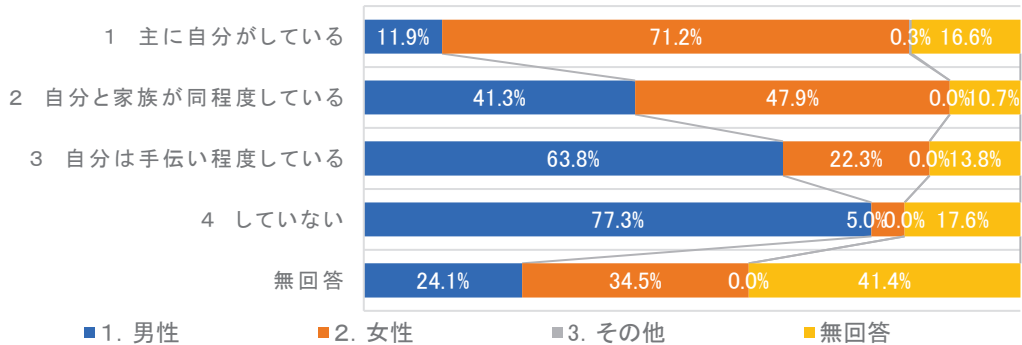
問9-3 「地域活動」(性別単位%)



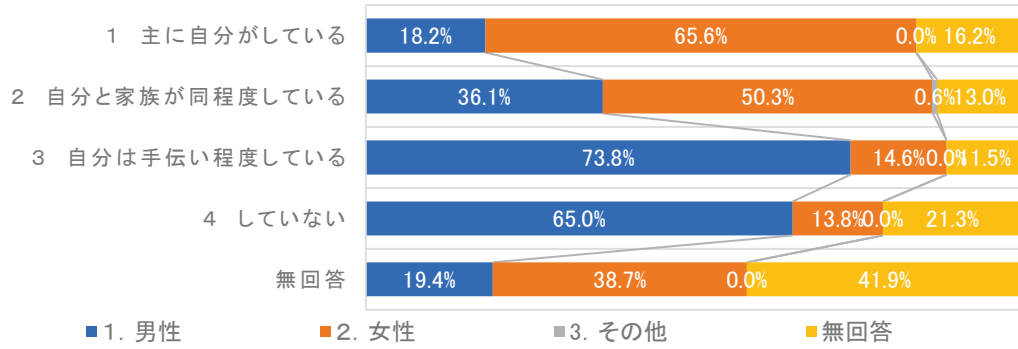
問9-4 「食料品・日用品等の買い物」(性別単位%)



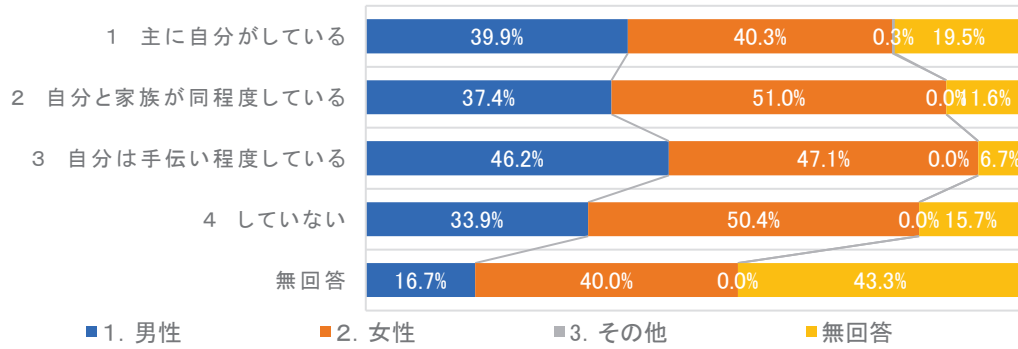
問9-5 「食事の支度」(性別単位%)



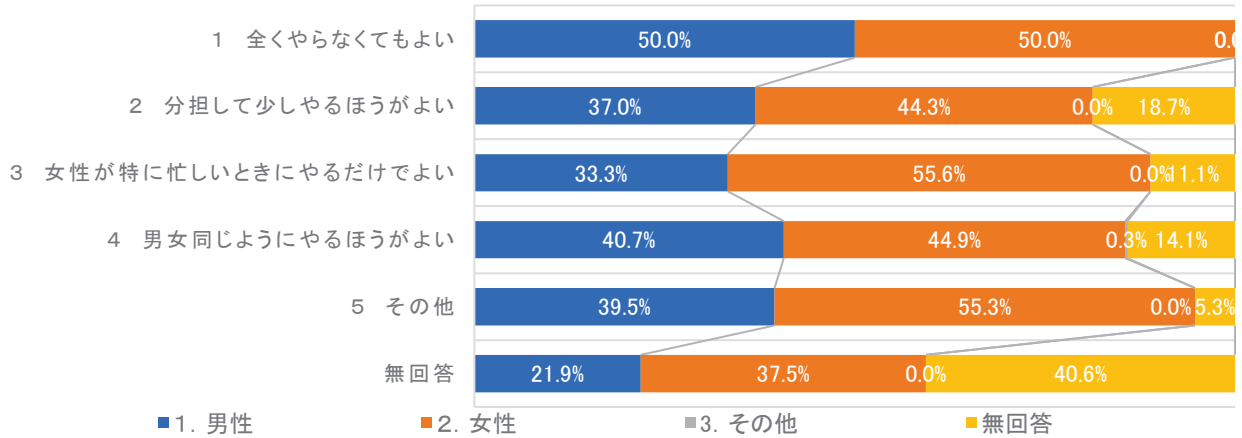
問9-6 「食事の後片付け」(性別単位%)



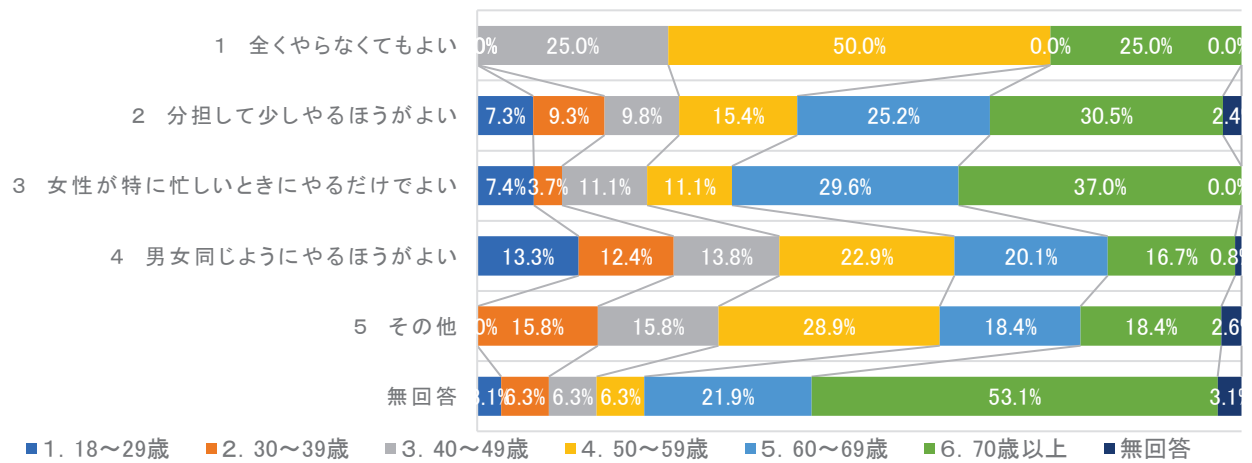
問9-7 「集積場等へのごみ出し」(性別単位%)



問10 家事や育児を男性が行うことについて、どう思いますか。(性別単位%)



問10 家事や育児を男性が行うことについて、どう思いますか。(年齢別単位%)



問16 女性が長く働き続けるうえで、どんなことが障害になると考えられますか。(男女別単位%)

